

埼玉県内企業の 2021 年度春季賃上げ見通し調査

調査対象：県内企業 538 社

調査方法（期間）：アンケート方式(1 月 18 日～2 月 24 日)

回答企業：195 社(回答率 36.2%)

業種別内訳：製造業 109 社 非製造業 86 社

要旨

○2021 年度に賃上げを予定している企業の割合は 60.3%と、前年度調査（64.0%）を 3.7 ㊦下回った。賃上げ予定している企業の割合は、5 年ぶりに減少となった前年度に引き続き 2 年連続の減少となった。昨年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響が、雇用の悪化に加え、賃上げにも影響を及ぼしており、企業側の賃上げに対する厳しい状況がうかがえる。

○2021 年度の賃上げ方針を「減少見通し」または「未定」とする企業では、新型コロナウイルス感染症が大きく影響していることがうかがえる。

○1 人当たり平均賃上げ予定額と賃上げ予定率(両者とも定昇とベースアップ込み加重平均、以下同じ)は、全体では金額で 4,835 円（前年度実績 5,116 円）、率で 1.66%（同 1.83%）、また、業種別では、製造業が 5,824 円、1.92%(同 5,683 円、1.94%)、非製造業が 3,254 円、1.25%（同 4,187 円、1.64%）となっている。製造業より、非製造業のほうが、賃上げ額および賃上げ率とも減少幅が大きい結果となった。

1. 春季賃上げ見通し

(1) 全体

①賃上げ実施の有無

2021 年度に賃上げ（「定昇、ベースアップとも実施予定」、「定昇のみ実施予定」及び「ベースアップのみ実施予定」の合計割合、以下同じ）を予定している企業の割合は、60.3%と前年度調査（64.0%）を 3.7 ㊦下回った。賃上げ予定している企業の割合は、5 年ぶりに減少となった前年度に引き続き 2 年連続の減少となった。一方、賃上げを予定していない企業の割合は、前年度比 2.4 ㊦増の 10.9%となった。また、「未定」とする割合は、27.2%（同比 2.3 ㊦増）となり、約 4 分の 1 の企業は、賃上げに対する取組方針が決定に至っていない状況にある。

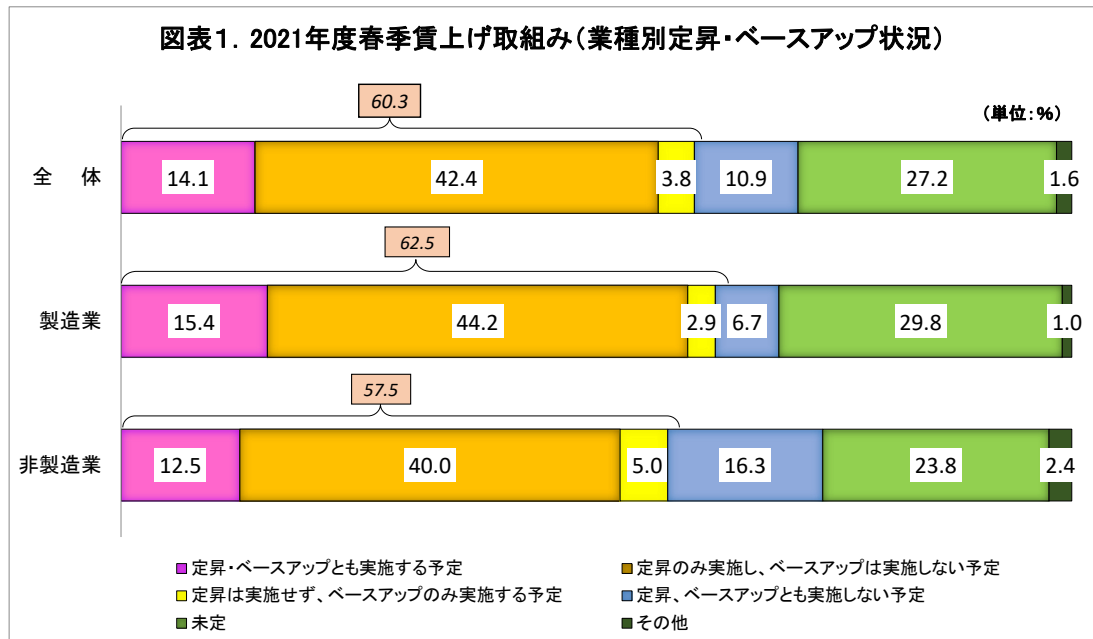
昨年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響が、雇用の悪化に加え、賃上げにも影響を及ぼしており、企業側の賃上げに対する厳しい状況がうかがえる。（図表 1）

②定昇とベースアップの取組状況

2021 年度に賃上げを予定している企業の取組状況をみると、「定昇のみ実施予定」とした企業の割合が最も高く、前年度比 5.4 ㊦増加の 42.4%となった。また、「定昇、ベースアップとも実施予定」は、同比 7.6 ㊦減の 14.1%、「ベースアップのみ実施予定」は、同比 1.5 ㊦減の 3.8%とそれぞれ減少している。（図表 1）

(2) 業種別

業種別にみると、賃上げを予定している企業の割合は、製造業では62.5%となり、前年度比0.4 ㊦の微増となった。一方、非製造業では57.5%となり、同比8.8 ㊦の減少となった。また、「賃上げを行わない」とする企業の割合は、製造業が6.7%と同比1.1 ㊦減少したのに対し、非製造業では16.3%と同比7.0 ㊦の増加となった。経営者の賃上げに対する取組みは、製造業より非製造業の方が、より慎重な結果となった。(図表1)



2. 1人当たり平均賃上げ予定額の方針

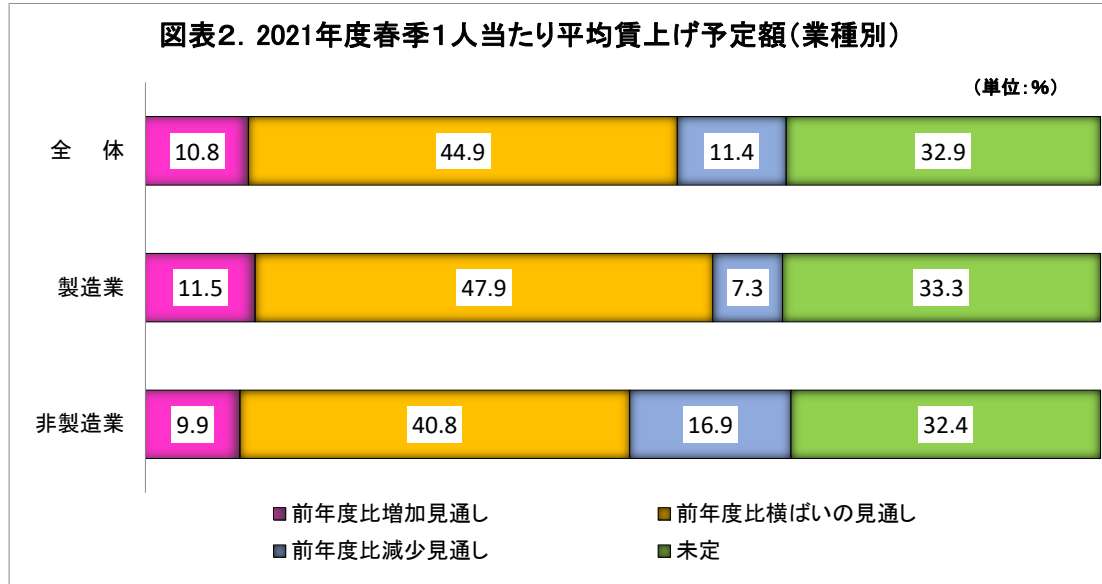
(1) 全体

賃上げを予定している企業に、1人当たり平均賃上げ予定額について尋ねたところ、「前年度比増加見通し」と回答した企業の割合は、10.8% (前年度比4.4 ㊦減)、「前年度比横ばいの見通し」は、44.9%(同比10.9 ㊦減)となった。また「前年度比減少見通し」は、11.4% (同比0.2 ㊦減) となった。一方で、「未定」は、32.9%で同比15.5 ㊦の大幅増加となった。新型コロナウイルス感染症の影響により賃上げ環境が厳しくなっていることから、約3割超の企業が方針を決めかねているものと思われる。(図表2)

(2) 業種別

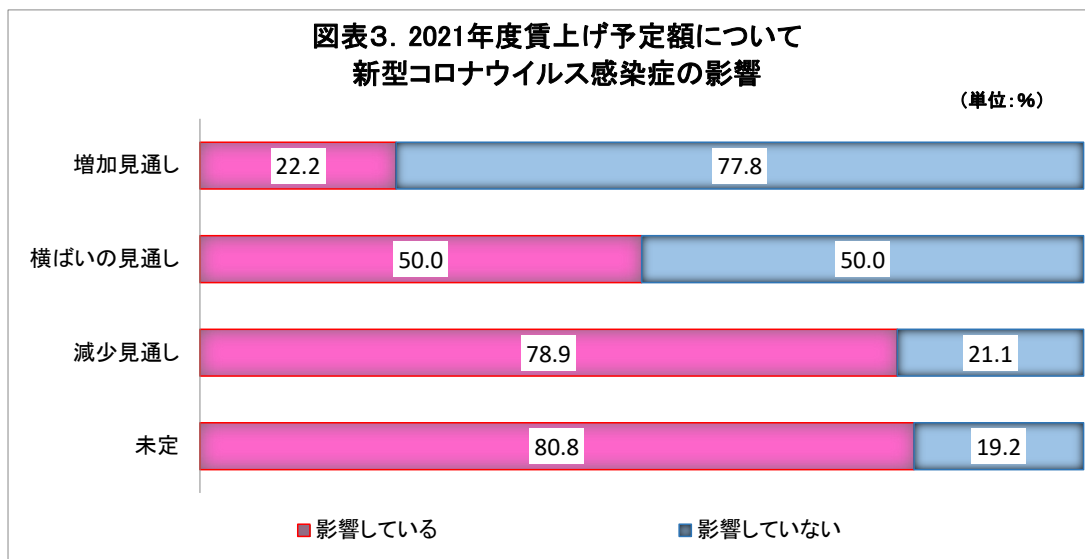
賃上げを予定している企業のうち製造業では、「前年度比増加見通し」が11.5% (前年度比0.7 ㊦減)、「前年度横ばいの見通し」が47.9% (同比6.1 ㊦減)、「前年度比減少見通し」は7.3% (同比6.2 ㊦減) となり、「未定」が33.3%と同比13.0 ㊦増加となった。また、非製造業では、「前年度比増加見通し」が9.9% (同比8.8 ㊦減)、「前年度比横ばいの見通し」が40.8% (同

比 17.0 ㊦減) となり、「前年度比減少見通し」が 16.9%で、同比 7.5 ㊦増加、「未定」が 32.4%で、同比 18.3 ㊦の増加となった。(図表 2)



3. 賃上げ予定額について新型コロナウイルス感染症の影響

賃上げ予定額を決定するに当たり、新型コロナウイルス感染症の影響を尋ねたところ、「前年度比増加見通し」と回答した企業は、「影響している」が 22.2%に対し、「影響していない」は、77.8%となった。一方、「前年度比減少見通し」と回答した先は、「影響している」が 78.9%に対し、「影響していない」は、21.1%となった。また、賃上げ予定額が「未定」と回答した先では、「影響している」が 80.8%に対し、「影響していない」は、19.2%となった。2021年度の賃上げ方針を「減少見通し」または「未定」とする企業では、新型コロナウイルス感染症が大きく影響していることがうかがえる。(図表 3)



4. 1人当たり平均賃上げ予定額及び賃上げ率

(1) 全体

全体の2021年度一人当たり平均賃上げ予定額（以下、賃上げ額）は4,835円、同平均賃上げ予定率（以下、賃上げ率）は1.66%と、前年度実績（5,116円、1.83%）に比べ、賃上げ額は281円、賃上げ率は0.17%のそれぞれ減少となった。また、平均定昇予定額（以下、定昇額）は3,960円で、前年度実績（4,092円）に比べ132円減少した。（図表4）

(2) 業種別・規模別

業種別にみると、製造業の賃上げ額が5,824円で前年度実績（5,683円）比141円増加したものの、賃上げ率では、1.92%と前年度実績（1.94%）比0.02%減少した。また、定昇額についても4,660円で同（4,626円）比34円増加した。一方、非製造業では、賃上げ額が3,254円で同（4,187円）比933円減少し、賃上げ率も1.25%と同（1.64%）比0.39%減少した。定昇額については、2,840円で同（3,219円）比379円減少した。製造業より、非製造業のほうが、賃上げ額および賃上げ率とも減少幅が大きい結果となった。

また、企業の規模別でみると、従業員100人未満の企業（以下、規模の小さい企業）の賃上げ予定額は、前年度実績比3円増加の見込みであるのに対し、従業員100人以上の企業（以下、規模の大きい企業）の賃上げ予定額は、同比355円減少の見込みとなっている。（図表4）

（注）図表4の集計企業数は、1人当たり平均賃上げ予定額及び賃上げ率が未定などの企業が多く、図表1・2及び3の集計企業数とは異なる。

図表4. 2021年度春季1人当たり平均賃上げ予定額・賃上げ率

（単位：円、%）

区分	1人当たり平均賃上げ額			1人当たり平均賃上げ率		
	2021年度予定 (A)	2020年度実績 (B)	前年度比増減額 (A-B)	2021年度予定 (C)	2020年度実績 (D)	前年度差 (C-D)
全体	4,835 (3,960)	5,116 (4,092)	▲ 281 (▲ 132)	1.66	1.83	▲ 0.17
製造業	5,824 (4,660)	5,683 (4,626)	141 (34)	1.92	1.94	▲ 0.02
非製造業	3,254 (2,840)	4,187 (3,219)	▲ 933 (▲ 379)	1.25	1.64	▲ 0.39
規模の大きい企業	4,484 (4,036)	4,839 (4,127)	▲ 355 (▲ 91)	1.64	1.85	▲ 0.21
規模の小さい企業	6,909 (3,511)	6,906 (3,865)	3 (▲ 354)	1.77	1.66	0.11

（注）平均賃上げ予定額及び賃上げ予定率はともに定昇、ベースアップ込み加重平均による。

1人当たり平均賃上げ額の括弧内には定昇額を表示。

以上